

人間生活学部 食品開発学科

出題年度：2025 年度 小論文課題

<問 1>

【出題意図】

食品開発学科では、多様で良質な食材を持続的に供給するシステムを確立し、そのなかで価値の高い食品を創造していける人材を育成します。食材生産から流通・加工、消費までを一気通貫に見渡して有効なエコシステムを実現するためには、農業の理解は大変重要です。

【模範解答】

メリットとデメリットについて以下のようなことが述べられていると良い。

■メリット

- ・天候等に影響されにくい安定な生産が可能となる（周年栽培が可能となる）
- ・安定した栽培が可能となり、単位面積当たりの収量・収益の増加がみこめる
- ・栽培環境をコントロールできるため確実な収量計算ができる
- ・需要量と供給量のバランスが取れた計画的な生産が可能となる
- ・面積の小さい場所でも立体的な設計等により生産が可能となる（都市型の地産地消で機能している例もある）
- ・病虫害のリスクが下がり農薬を低減できる
- ・生育環境を制御することにより連作障害を防げる
- ・生育環境を制御することにより高機能性野菜等付加価値をつけられる
- ・農薬散布にかかる作業費・費用等が大幅に削減でき、人件費も抑えられる
- ・作業をマニュアル化しやすく就業者作業の量的・質的なリスクを低減できる（高齢者等の就業の制約を低減できる）。
- ・農業ロボットの導入が容易となる

■デメリット

- ・初期設備投資・保全費が必要となる
- ・環境保全や観光との組み合わせで価値を得ている場合はそれらが一部損なわれる
- ・栽培技術が確立された作物の種類はまだ少ない